

令和 5 年度大分県経済の概況

	大分県	国
県(国)内総生産(名目)	5 兆 887 億円	595 兆 1,843 億円
経済成長率 名目	7.0%	4.9%
経済成長率 実質(連鎖方式)	2.5%	0.7%
一人当たり県(国)民所得	3,042 千円	3,521 千円
同上対前年度比増減率	11.1%	7.4%
同上県／国格差	86.4(前年度 83.5)	100

(注) 県(国)内総生産(名目)及び経済成長率は、県は生産側、国は支出側の数値

(1) 経済の動向

令和 5 年度の日本経済は、コロナ禍からの経済活動正常化が進み、緩やかな回復基調を取り戻した。コスト増が価格転嫁されるなど企業部門は好調となったが、実質賃金は物価上昇に追いつかず、内需の力強さを欠く要因となった。一方、インバウンド需要の回復が個人消費の弱さをカバーするなど、外需が成長を牽引した。この結果、令和 5 年度の名目経済成長率は 4.9% となり、名目、実質ともに 3 年連続のプラスとなった。

このような中で、令和 5 年度の大分県の経済成長率は名目では 7.0%、実質では 2.5% となり、名目、実質ともに 3 年連続のプラスとなった。

生産面では、産業別の対前年度増加率を寄与度順にみると、名目では、製造業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業など 15 産業が増加し、公務の 1 産業が減少となった。実質では、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、建設業など 11 産業が増加し、製造業、公務など 5 産業が減少となった。

分配面では、雇用者報酬、財産所得、企業所得が増加した。

支出面では、民間最終消費支出が増加し、地方政府等最終消費支出、県内総資本形成が減少した。

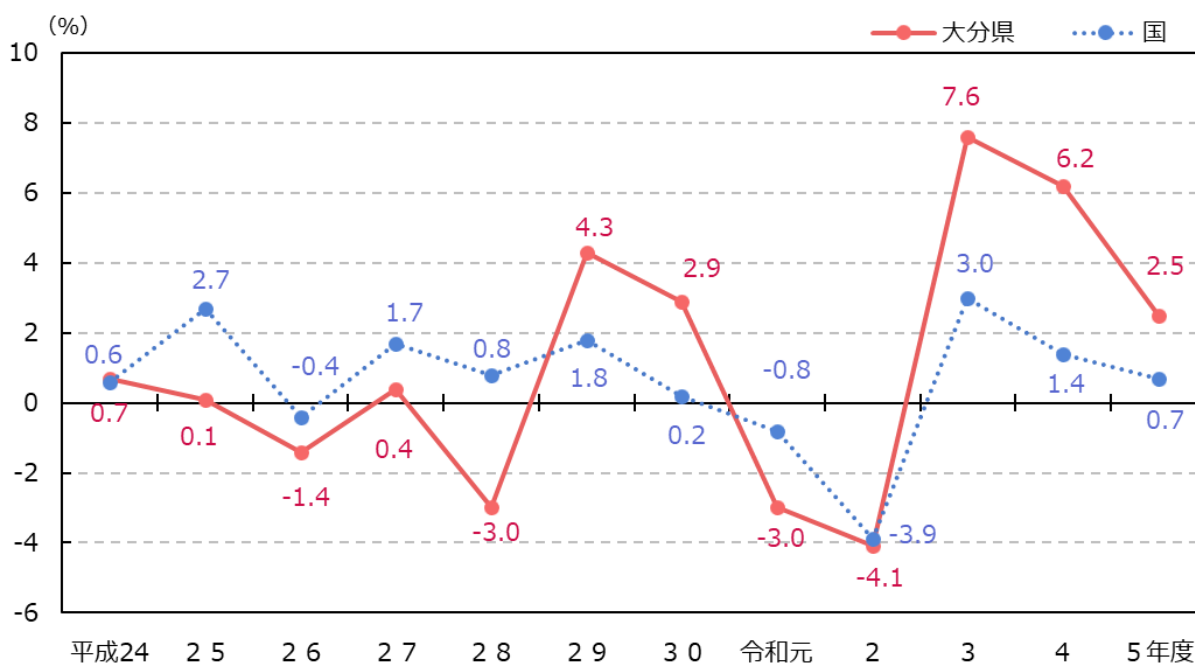


図 1 実質経済成長率の推移

(2) 一人当たり県民所得

令和5年度の一人当たり県民所得は304万2千円で、前年度に比べ304千円増加し、11.1%増と2年ぶりのプラスとなった。一人当たり国民所得を100とした場合、一人当たり県民所得は86.4となり、前年度と格差は2.9ポイント縮小した。

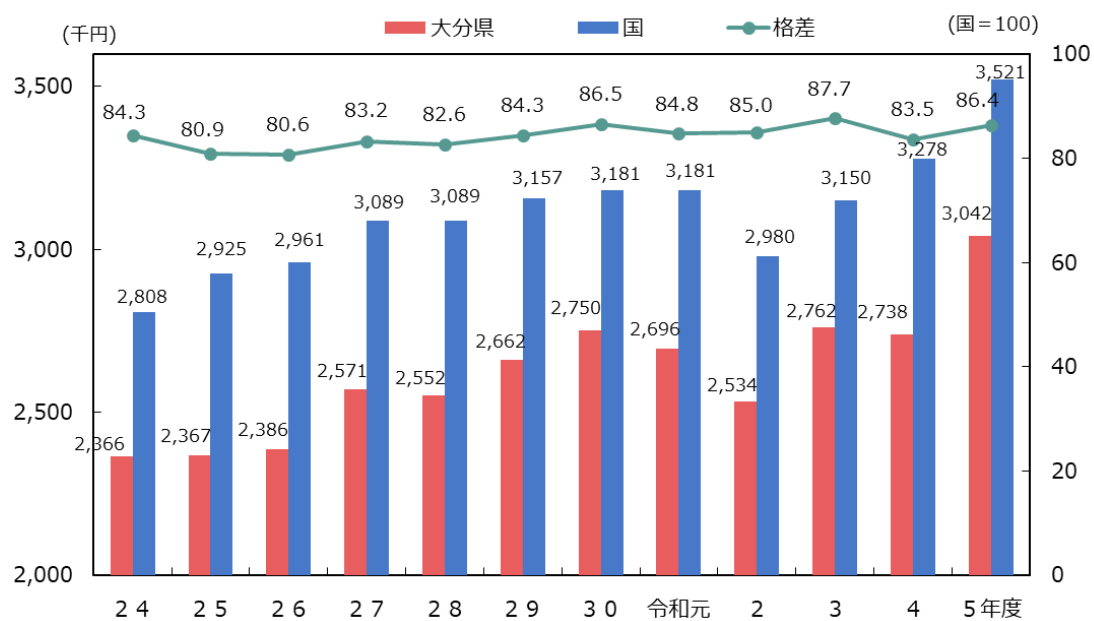


図2 一人当たり県(国)民所得及び格差の推移

2 市町村内総生産 【付表－1 参照】

2－1 市町村内総生産の概況

令和5年度の市町村内総生産の県計（県内総生産）は5兆887億円で、前年度に比べ3,311億円（7.0％）の増加で、3年連続のプラスとなった。

市町村内総生産の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町18.5％増、津久見市18.4％増など17市町村でプラスとなったが、豊後高田市2.4％減の1市でマイナスとなった。

市町村内総生産の県計を経済活動別にみると、第1次産業は848億円で、前年度に比べ52億円（6.5％）の増加で、2年ぶりのプラスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は1.7％となった。

第1次産業の対前年度増加率を市町村別にみると、姫島村35.7％増、日出町18.1％増など16市町村でプラスとなったが、津久見市16.7％減、佐伯市3.7％減の2市でマイナスとなった。

第2次産業は1兆8,144億円で、前年度に比べ1,282億円（7.6％）の増加で、4年連続のプラスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は35.7％となった。

第2次産業の対前年度増加率を市町村別にみると、津久見市39.4％増、中津市24.5％増など13市町村でプラスとなったが、別府市9.4％減、豊後高田市7.6％減など5市でマイナスとなった。

第3次産業は3兆1,729億円で、前年度に比べ1,926億円（6.5％）の増加で、2年ぶりのプラスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は62.4％となった。

第3次産業の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町26.4％増、大分市9.0％増など16市町村でプラスとなったが、豊後大野市1.3％減、豊後高田市0.0％減の2市でマイナスとなった。

図3 市町村内総生産（実額）

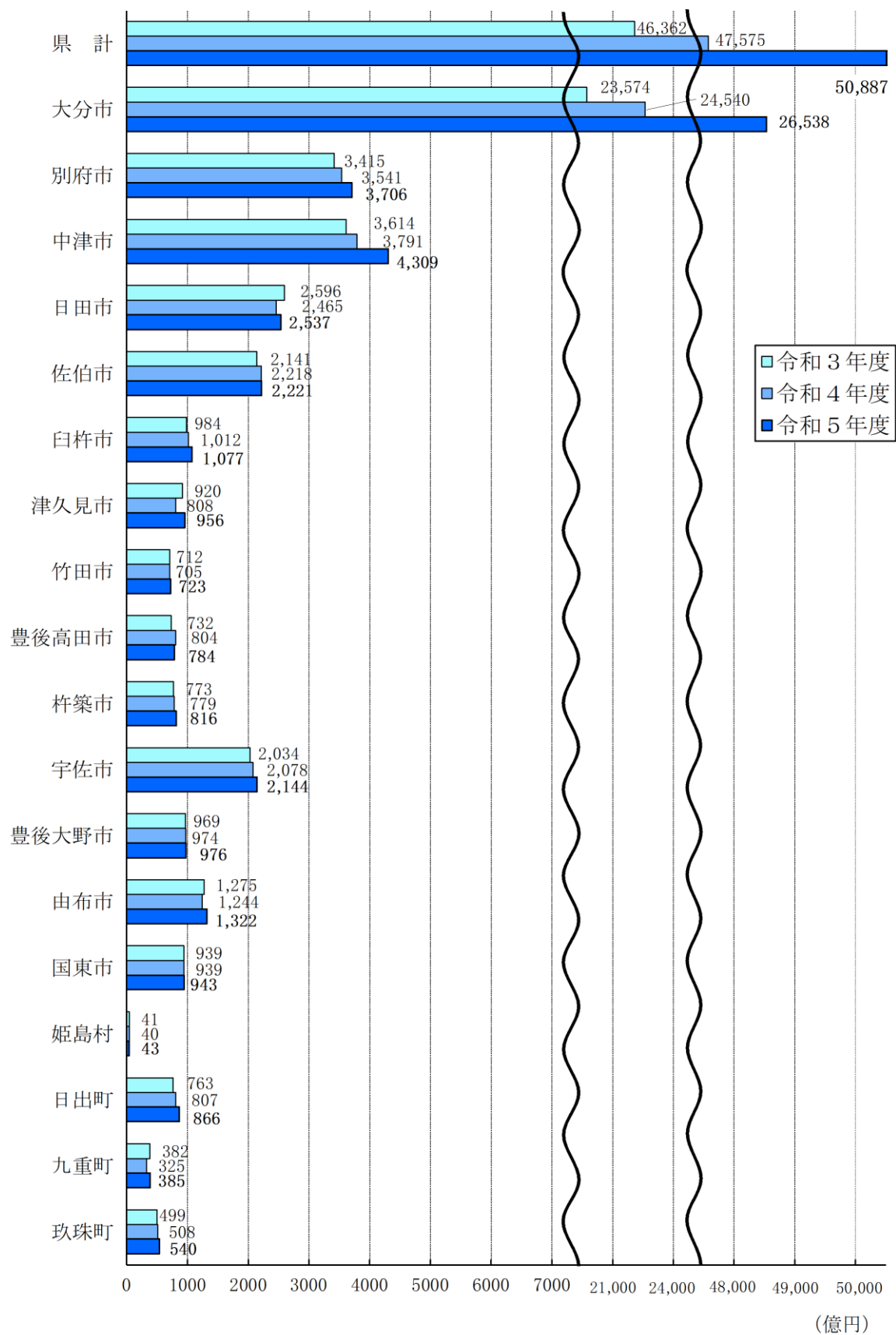


図4 市町村内総生産（対前年度増加率）

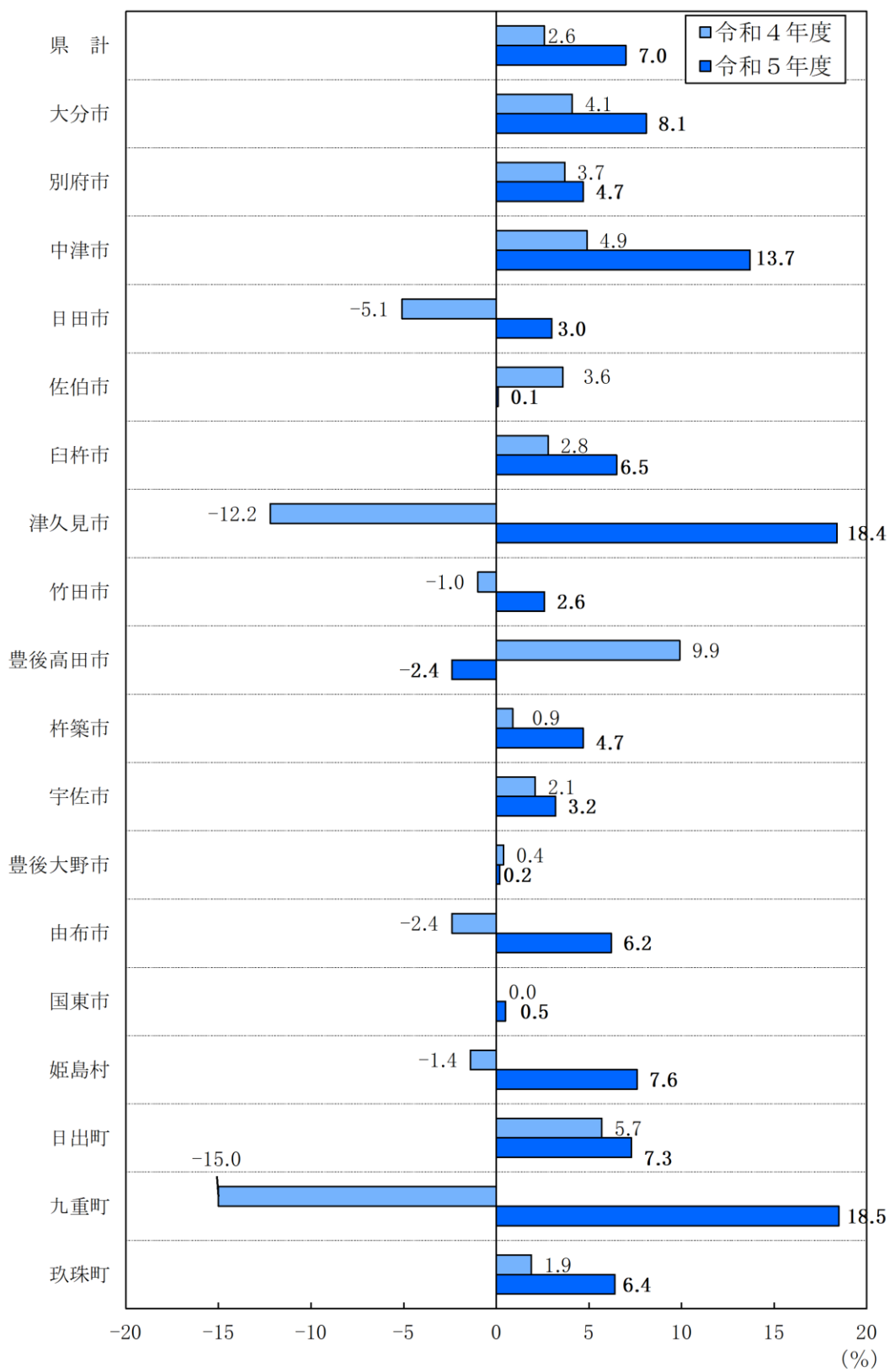
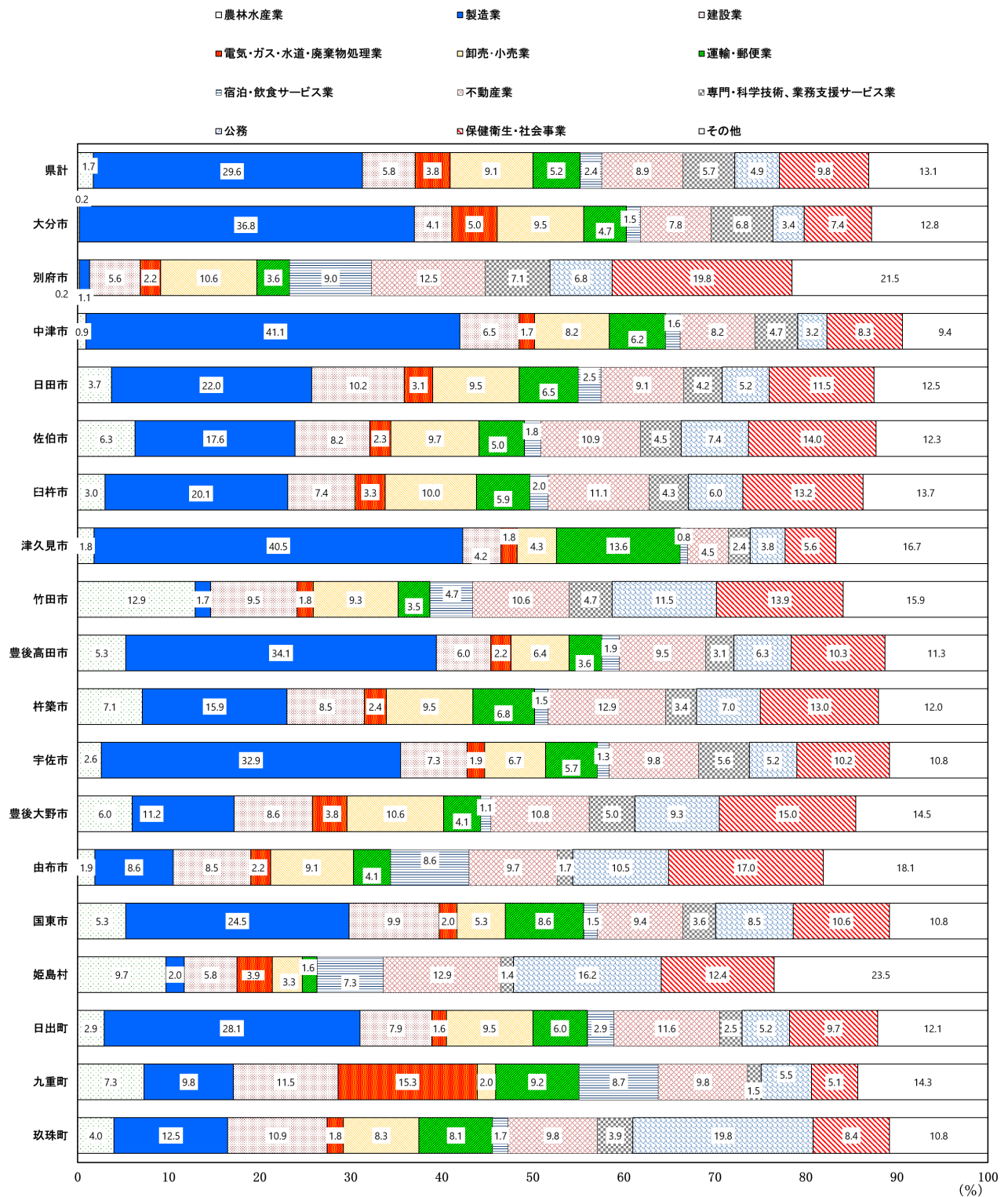


図5 市町村別経済活動別総生産の構成比（令和5年度）



（注）「その他」には、鉱業、情報通信業、金融・保険業、教育、その他のサービス、輸入品に課される税・関税、（控除）総資本形成に係る消費税が含まれる。

2-2 市町村別の動向

① 大分市

令和5年度市内総生産は2兆6,538億円、対前年度増加率8.1%増で、3年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は57億円、対前年度増加率11.1%増となった。これは、農業（13.7%増）などが増加したことによる。

第2次産業は1兆865億円、対前年度増加率6.8%増となった。これは、製造業（5.6%増）などが増加したことによる。

第3次産業は1兆5,529億円、対前年度増加率9.0%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（66.4%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.2%、第2次産業40.9%、第3次産業58.5%となった。

② 別府市

令和5年度市内総生産は3,706億円、対前年度増加率4.7%増で、3年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は7億円、対前年度増加率14.1%増となった。これは、農業（13.9%増）などが増加したことによる。

第2次産業は248億円、対前年度増加率9.4%減となった。これは、建設業（10.7%減）などが減少したことによる。

第3次産業は3,439億円、対前年度増加率5.7%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（51.4%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.2%、第2次産業6.7%、第3次産業92.8%となった。

③ 中津市

令和5年度市内総生産は4,309億円、対前年度増加率13.7%増で、7年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は38億円、対前年度増加率10.6%増となった。これは、農業（10.7%増）などが増加したことによる。

第2次産業は2,051億円、対前年度増加率24.5%増となった。これは、製造業（23.3%増）などが増加したことによる。

第3次産業は2,205億円、対前年度増加率5.0%増となった。これは、運輸・郵便業（9.2%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.9%、第2次産業47.6%、第3次産業51.2%となった。

④ 日田市

令和5年度市内総生産は2,537億円、対前年度増加率3.0%増で、2年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は93億円、対前年度増加率4.0%増となった。これは、農業（10.4%増）などが増加したことによる。

第2次産業は825億円、対前年度増加率0.0%増となった。これは、建設業（46.5%増）が増加したことによる。

第3次産業は1,611億円、対前年度増加率4.3%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（39.2%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業3.7%、第2次産業32.5%、第3次産業63.5%となった。

⑤ 佐伯市

令和5年度市内総生産は2,221億円、対前年度増加率0.1%増で、2年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は141億円、対前年度増加率3.7%減となった。これは、水産業（5.2%減）などが減少したことによる。

第2次産業は583億円、対前年度増加率3.1%減となった。これは、製造業（4.6%減）などが減少したことによる。

第3次産業は1,490億円、対前年度増加率1.7%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（33.4%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業6.3%、第2次産業26.2%、第3次産業67.1%となった。

⑥ 臼杵市

令和5年度市内総生産は1,077億円、対前年度増加率6.5%増で、2年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は32億円、対前年度増加率12.3%増となった。これは、農業（17.0%増）などが増加したことによる。

第2次産業は296億円、対前年度増加率13.2%増となった。これは、製造業（11.5%増）などが増加したことによる。

第3次産業は745億円、対前年度増加率3.7%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（34.3%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業3.0%、第2次産業27.5%、第3次産業69.2%となった。

⑦ 津久見市

令和 5 年度市内総生産は 956 億円、対前年度増加率 18.4%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 18 億円、対前年度増加率 16.7%減となった。これは、水産業（25.6%減）などが減少したことによる。

第 2 次産業は 523 億円、対前年度増加率 39.4%増となった。これは、製造業（58.0%増）などが増加したことによる。

第 3 次産業は 412 億円、対前年度増加率 0.7%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（22.7%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 1.8%、第 2 次産業 54.7%、第 3 次産業 43.1%となった。

⑧ 竹田市

令和 5 年度市内総生産は 723 億円、対前年度増加率 2.6%増で、7 年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 93 億円、対前年度増加率 12.1%増となった。これは、農業（14.4%増）が増加したことによる。

第 2 次産業は 81 億円、対前年度増加率 2.6%減となった。これは、製造業（8.9%減）などが減少したことによる。

第 3 次産業は 546 億円、対前年度増加率 1.8%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（58.1%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 12.9%、第 2 次産業 11.2%、第 3 次産業 75.6%となった。

⑨ 豊後高田市

令和 5 年度市内総生産は 784 億円、対前年度増加率 2.4%減で、2 年ぶりのマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 41 億円、対前年度増加率 17.4%増となった。これは、農業（16.1%増）などが増加したことによる。

第 2 次産業は 315 億円、対前年度増加率 7.6%減となった。これは、建設業（25.1%減）などが減少したことによる。

第 3 次産業は 426 億円、対前年度増加率 0.0%減となった。これは、不動産業（11.6%減）などが減少したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 5.3%、第 2 次産業 40.1%、第 3 次産業 54.3%となった。

⑩ 杵築市

令和5年度市内総生産は816億円、対前年度増加率4.7%増で、2年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は58億円、対前年度増加率8.6%増となった。これは、農業（8.7%増）などが増加したことによる。

第2次産業は199億円、対前年度増加率7.9%増となった。これは、建設業（41.1%増）が増加したことによる。

第3次産業は556億円、対前年度増加率3.1%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（39.8%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業7.1%、第2次産業24.4%、第3次産業68.2%となった。

⑪ 宇佐市

令和5年度市内総生産は2,144億円、対前年度増加率3.2%増で、3年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は55億円、対前年度増加率9.4%増となった。これは、農業（10.2%増）などが増加したことによる。

第2次産業は871億円、対前年度増加率2.1%増となった。これは、建設業（7.1%増）などが増加したことによる。

第3次産業は1,210億円、対前年度増加率3.5%増となった。これは、運輸・郵便業（8.9%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.6%、第2次産業40.6%、第3次産業56.5%となった。

⑫ 豊後大野市

令和5年度市内総生産は976億円、対前年度増加率0.2%増で、2年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は59億円、対前年度増加率9.0%増となった。これは、農業（13.5%増）が増加したことによる。

第2次産業は209億円、対前年度増加率3.0%増となった。これは、建設業（7.9%増）などが増加したことによる。

第3次産業は704億円、対前年度増加率1.3%減となった。これは、運輸・郵便業（24.6%減）などが減少したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業6.0%、第2次産業21.4%、第3次産業72.2%となった。

⑬ 由布市

令和5年度市内総生産は1,322億円、対前年度増加率6.2%増で、2年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は25億円、対前年度増加率7.5%増となった。これは、農業（13.5%増）などが増加したことによる。

第2次産業は227億円、対前年度増加率6.5%増となった。これは、建設業（7.8%増）などが増加したことによる。

第3次産業は1,065億円、対前年度増加率6.1%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（61.7%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業1.9%、第2次産業17.2%、第3次産業80.6%となった。

⑭ 国東市

令和5年度市内総生産は943億円、対前年度増加率0.5%増で、2年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は50億円、対前年度増加率10.9%増となった。これは、農業（9.0%増）などが増加したことによる。

第2次産業は325億円、対前年度増加率7.4%減となった。これは、製造業（13.6%減）が減少したことによる。

第3次産業は565億円、対前年度増加率4.6%増となった。これは、運輸・郵便業（23.3%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業5.3%、第2次産業34.5%、第3次産業59.9%となった。

⑮ 姫島村

令和5年度村内総生産は43億円、対前年度増加率7.6%増で、4年ぶりのプラスとなった。

村内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は4億円、対前年度増加率35.7%増となった。これは、水産業（35.8%増）が増加したことによる。

第2次産業は3億円、対前年度増加率2.7%増となった。これは、建設業（2.9%増）などが増加したことによる。

第3次産業は36億円、対前年度増加率5.4%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（54.9%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業9.7%、第2次産業7.8%、第3次産業82.2%となった。

⑯ 日出町

令和 5 年度町内総生産は 866 億円、対前年度増加率 7.3%増で、3 年連続のプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 25 億円、対前年度増加率 18.1%増となった。これは、農業（19.2%増）などが増加したことによる。

第 2 次産業は 311 億円、対前年度増加率 10.5%増となった。これは、建設業（86.8%増）が増加したことによる。

第 3 次産業は 527 億円、対前年度増加率 5.0%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（48.9%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 2.9%、第 2 次産業 35.9%、第 3 次産業 60.8%となった。

⑰ 九重町

令和 5 年度町内総生産は 385 億円、対前年度増加率 18.5%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 28 億円、対前年度増加率 3.0%増となった。これは、農業（9.9%増）などが増加したことによる。

第 2 次産業は 83 億円、対前年度増加率 2.4%増となった。これは、建設業（8.3%増）などが増加したことによる。

第 3 次産業は 273 億円、対前年度増加率 26.4%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（205.8%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 7.3%、第 2 次産業 21.5%、第 3 次産業 70.9%となった。

⑱ 玖珠町

令和 5 年度町内総生産は 540 億円、対前年度増加率 6.4%増で、3 年連続のプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 22 億円、対前年度増加率 4.3%増となった。これは、農業（9.7%増）が増加したことによる。

第 2 次産業は 127 億円、対前年度増加率 21.1%増となった。これは、建設業（73.7%増）が増加したことによる。

第 3 次産業は 390 億円、対前年度増加率 2.3%増となった。これは、運輸・郵便業（5.7%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 4.0%、第 2 次産業 23.4%、第 3 次産業 72.3%となった。

2-3 地域別の動向

令和5年度の市町村内総生産を地域別にみると、前年度に比べ、北部（8.5％増）、中部（8.3％増）、西部（5.0％増）、東部（4.4％増）、豊肥（1.2％増）、南部（0.1％増）の6地域でプラスとなった。

地域別構成比では、中部が県全体の58.7％を占めた。

表1 地域別市町村内総生産

（単位：億円、％）

年 度	実 績			対前年度増減額		対前年度増加率		構成比		寄与度
	R3	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R5
県 計	46,362	47,575	50,887	1,213	3,311	2.6	7.0	100.0	100.0	7.0
東 部	5,931	6,106	6,375	175	269	3.0	4.4	12.8	12.5	0.6
中 部	26,752	27,603	29,892	851	2,289	3.2	8.3	58.0	58.7	4.8
南 部	2,141	2,218	2,221	77	3	3.6	0.1	4.7	4.4	0.0
豊 肥	1,681	1,678	1,699	-3	21	-0.2	1.2	3.5	3.3	0.0
西 部	3,477	3,297	3,462	-180	165	-5.2	5.0	6.9	6.8	0.3
北 部	6,379	6,672	7,237	293	565	4.6	8.5	14.0	14.2	1.2

注）寄与度は、県全体の成長率に対するものである。

経済活動別にみると、前年度に比べ、第1次産業は、北部（12.1％増）、東部（11.8％増）など5地域が増加したことから、県全体では6.5％増と2年ぶりのプラスとなった。

第2次産業は、北部（13.9％増）、中部（8.0％増）など4地域が増加したことから、県全体では7.6％増と4年連続のプラスとなった。

第3次産業は、中部（8.3％増）、西部（6.2％増）など6地域が増加したことから、県全体では6.5％増と2年ぶりのプラスとなった。

① 東部（別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）

令和5年度地域内総生産は6,375億円、対前年度増加率4.4％増で、3年連続のプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は145億円、対前年度増加率11.8％増となった。これは、農業（10.9％増）などが増加したことによる。

第2次産業は1,087億円、対前年度増加率0.7％減となった。これは、製造業（6.5％減）が減少したことによる。

第3次産業は5,122億円、対前年度増加率5.2％増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（50.5％増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.3％、第2次産業17.1％、第3次産業80.3％となった。

② 中部（大分市、臼杵市、津久見市、由布市）

令和 5 年度地域内総生産は 2 兆 9,892 億円、対前年度増加率 8.3%増で、3 年連続のプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 132 億円、対前年度増加率 6.0%増となった。これは、農業（13.9%増）が増加したことによる。

第 2 次産業は 1 兆 1,912 億円、対前年度増加率 8.0%増となった。これは、製造業（7.0%増）などが増加したことによる。

第 3 次産業は 1 兆 7,751 億円、対前年度増加率 8.3%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（61.5%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 0.4%、第 2 次産業 39.8%、第 3 次産業 59.4%となった。

③ 南部（佐伯市）

令和 5 年度地域内総生産は 2,221 億円、対前年度増加率 0.1%増で、2 年連続のプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 141 億円、対前年度増加率 3.7%減となった。これは、水産業（5.2%減）などが減少したことによる。

第 2 次産業は 583 億円、対前年度増加率 3.1%減となった。これは、製造業（4.6%減）などが減少したことによる。

第 3 次産業は 1,490 億円、対前年度増加率 1.7%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（33.4%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 6.3%、第 2 次産業 26.2%、第 3 次産業 67.1%となった。

④ 豊肥（竹田市、豊後大野市）

令和 5 年度地域内総生産は 1,699 億円、対前年度増加率 1.2%増で、3 年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 152 億円、対前年度増加率 10.9%増となった。これは、農業（14.0%増）が増加したことによる。

第 2 次産業は 290 億円、対前年度増加率 1.4%増となった。これは、建設業（3.5%増）などが増加したことによる。

第 3 次産業は 1,251 億円、対前年度増加率 0.0%増となった。これは、宿泊・飲食サービス業（52.6%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 8.9%、第 2 次産業 17.1%、第 3 次産業 73.6%となった。

⑤ 西部（日田市、九重町、玖珠町）

令和 5 年度地域内総生産は 3,462 億円、対前年度増加率 5.0%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 143 億円、対前年度増加率 3.8%増となった。これは、農業（10.2%増）などが増加したことによる。

第 2 次産業は 1,034 億円、対前年度増加率 2.4%増となった。これは、建設業（44.0%増）が増加したことによる。

第 3 次産業は 2,274 億円、対前年度増加率 6.2%増となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（75.8%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 4.1%、第 2 次産業 29.9%、第 3 次産業 65.7%となった。

⑥ 北部（中津市、豊後高田市、宇佐市）

令和 5 年度地域内総生産は 7,237 億円、対前年度増加率 8.5%増で、4 年連続のプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第 1 次産業は 135 億円、対前年度増加率 12.1%増となった。これは、農業（12.1%増）などが増加したことによる。

第 2 次産業は 3,238 億円、対前年度増加率 13.9%増となった。これは、製造業（13.7%増）などが増加したことによる。

第 3 次産業は 3,841 億円、対前年度増加率 4.0%増となった。これは、運輸・郵便業（8.8%増）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第 1 次産業 1.9%、第 2 次産業 44.7%、第 3 次産業 53.1%となった。

図6 地域別市町村内総生産（実額）

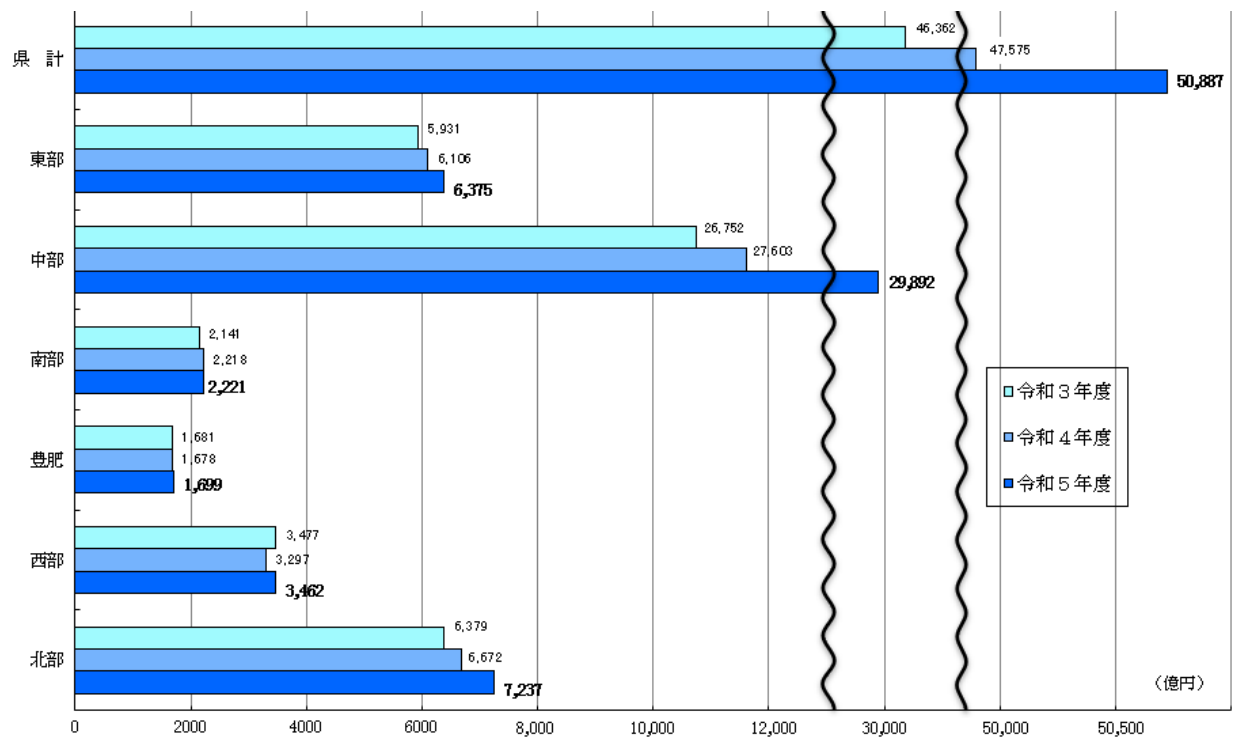


図7 地域別市町村内総生産（対前年度増加率）

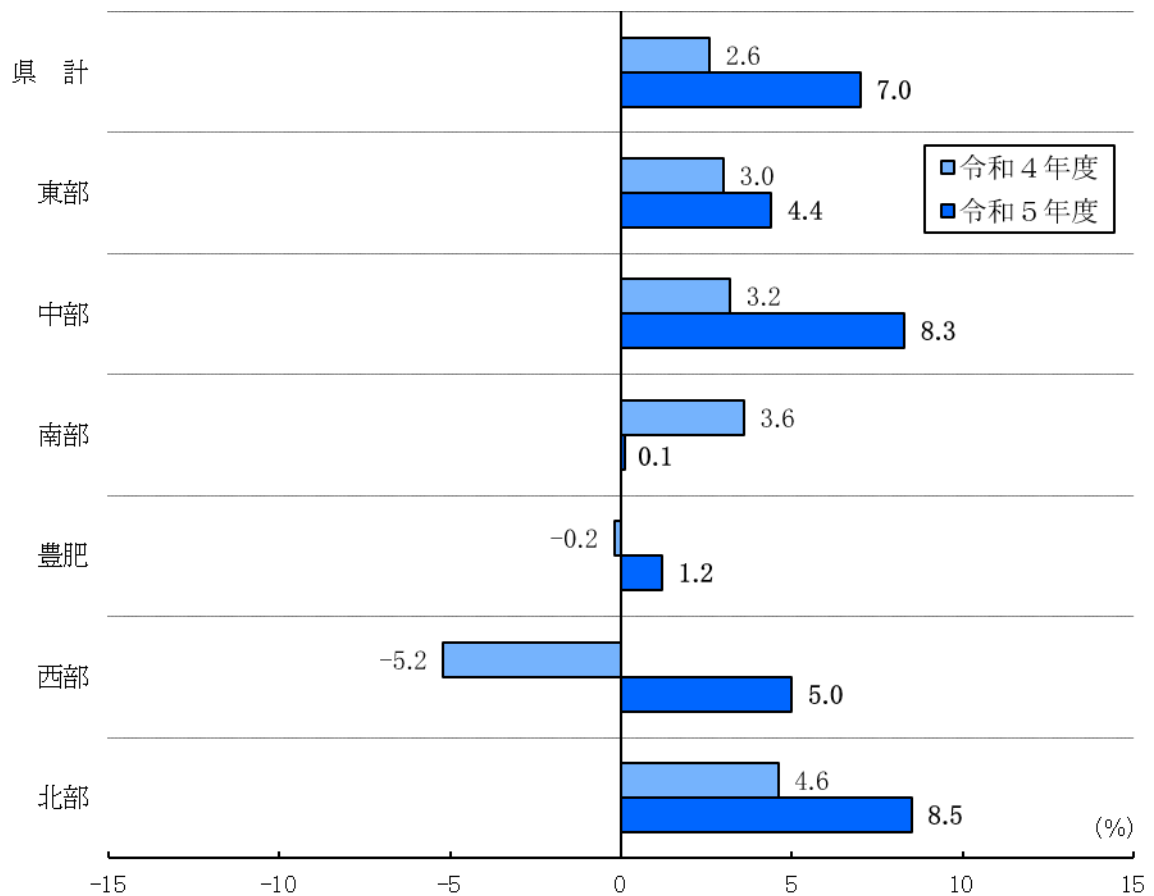
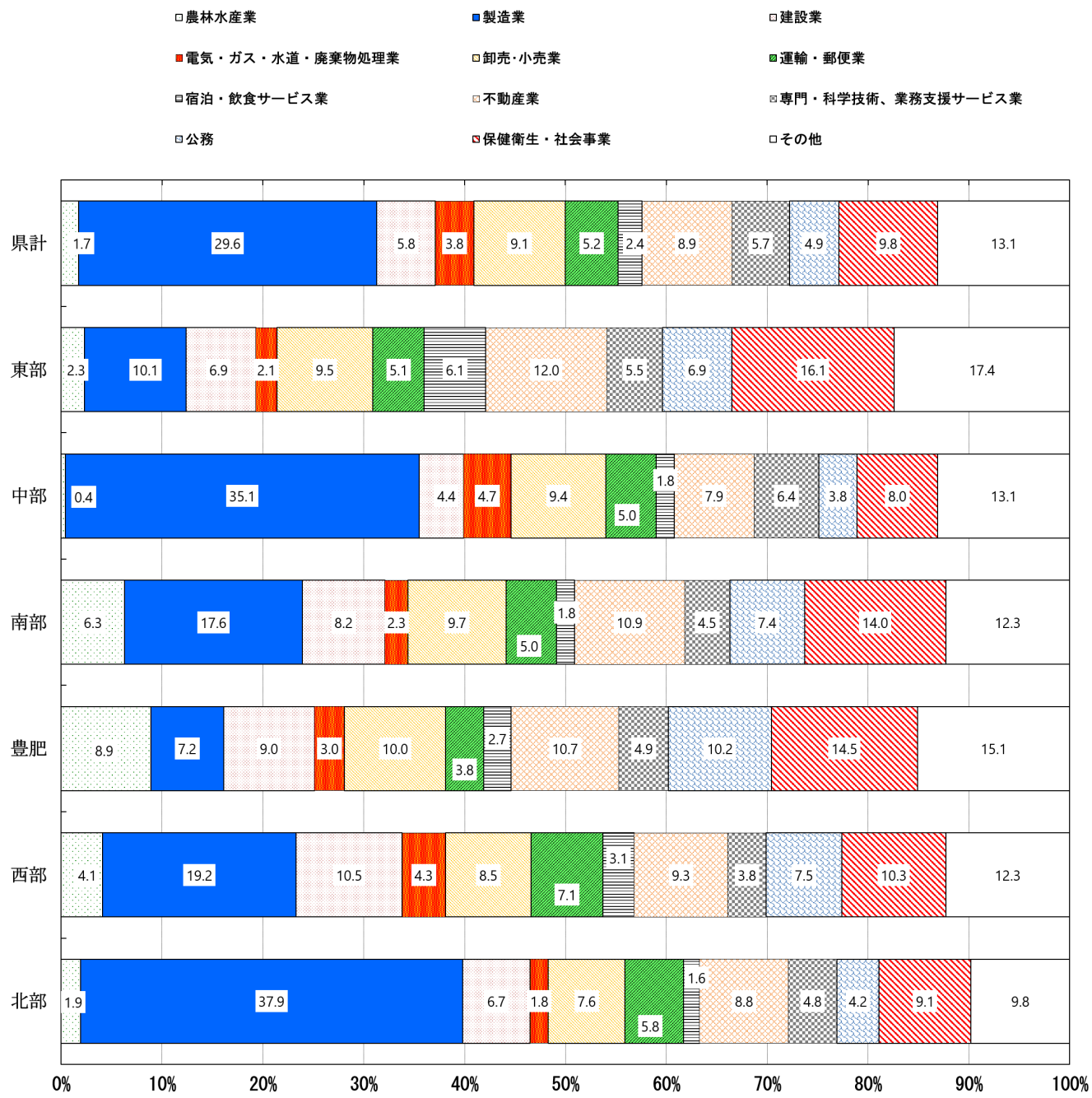


図 8 地域別経済活動別総生産の構成比（令和 5 年度）



3 市町村民所得の分配 【付表－2、付表－3 参照】

3－1 市町村民所得

令和5年度の県民所得は3兆3,348億円で、前年度に比べ3,040億円（10.0％）の増加で、2年ぶりのプラスとなった。

県民所得の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町30.0％増、津久見市16.2％増など18市町村でプラスとなった。

市町村民所得を所得項目別にみると、雇用者報酬は2兆1,793億円で、前年度に比べ367億円（1.7％）の増加で、3年ぶりのプラスとなった。市町村民所得に占める割合は65.4％であった。

雇用者報酬の対前年度増加率を市町村別にみると、豊後大野市5.3％増、豊後高田市3.7％増など16市町でプラスとなったが、姫島村3.2％減、臼杵市0.1％減の2市村でマイナスとなった。

財産所得（非企業部門）は1,969億円で、前年度に比べ94億円（5.0％）の増加で、3年連続のプラスとなった。市町村民所得に占める割合は5.9％であった。

財産所得（非企業部門）の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町20.4％増、津久見市9.9％増など17市町村でプラスとなったが、佐伯市0.2％減の1市でマイナスとなった。

企業所得は9,586億円で、前年度に比べ2,580億円（36.8％）の増加で、2年ぶりのプラスとなった。市町村民所得に占める割合は28.7％であった。

企業所得の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町95.1％増、中津市53.2％増など17市町村でプラスとなったが、豊後高田市7.9％減の1市でマイナスとなった。

図9 市町村民所得

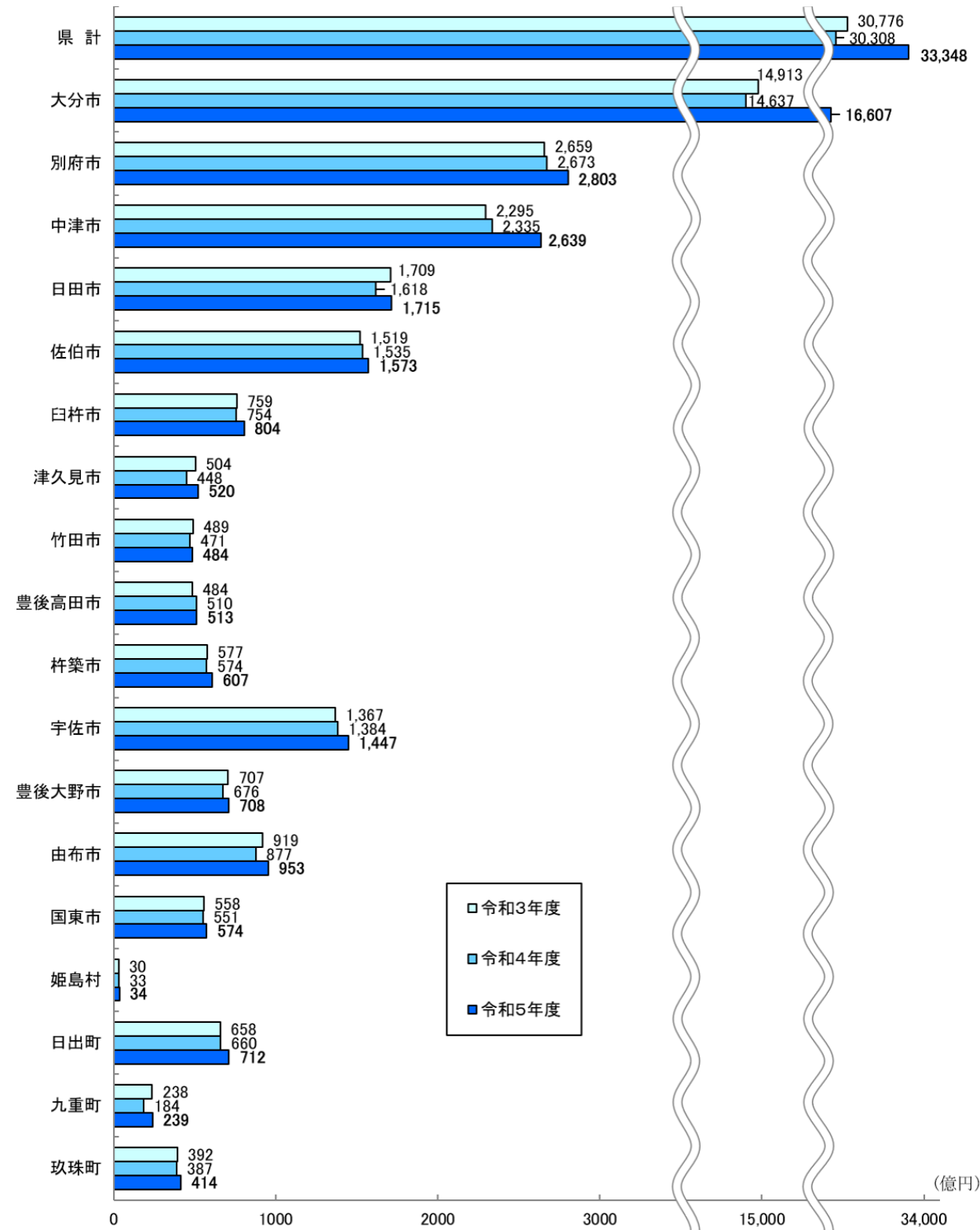
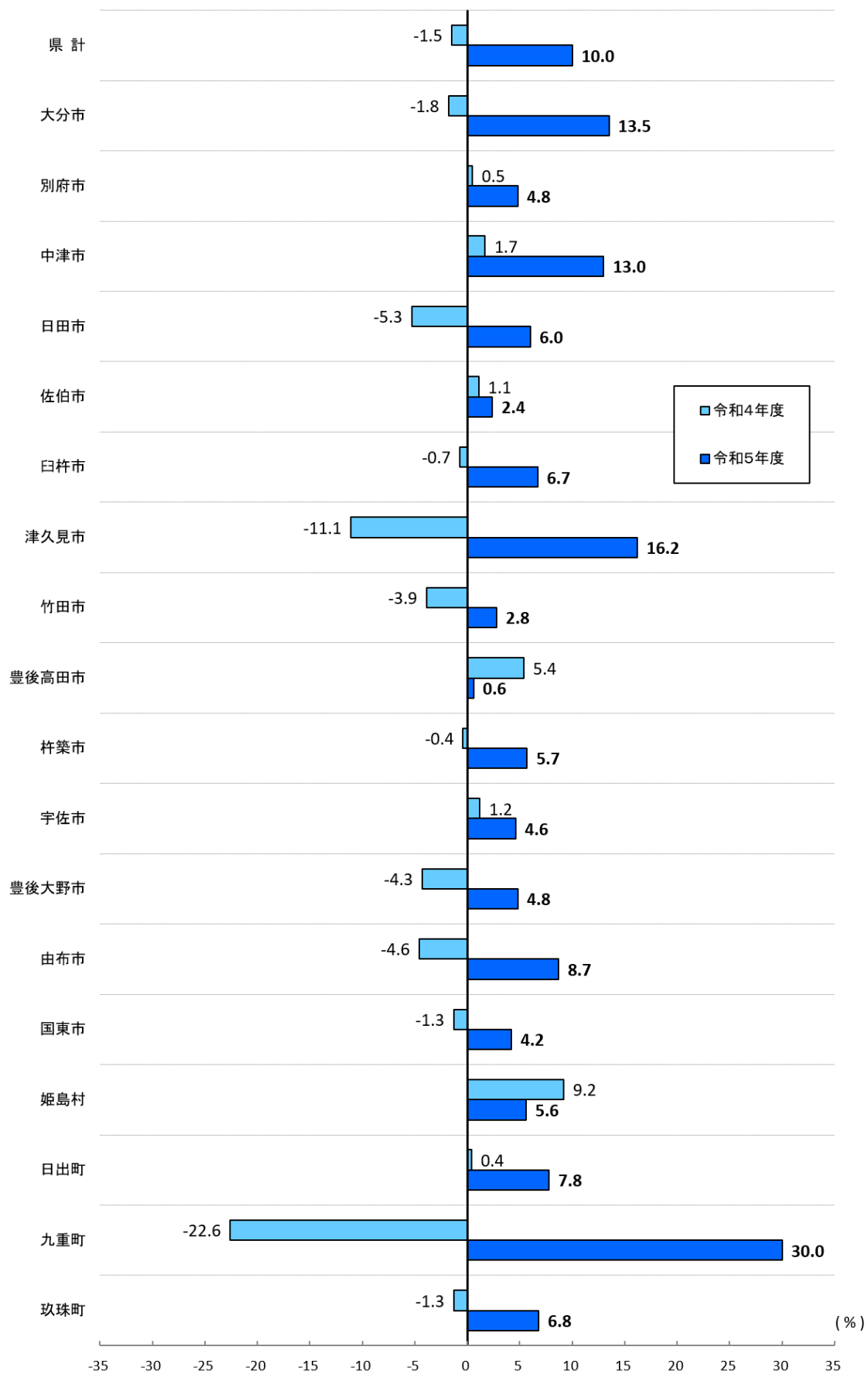


図 1 0 市町村民所得（対前年度増加率）



3-1-1 市町村別の動向

① 大分市

令和5年度市民所得総額は1兆6,607億円、対前年度増加率13.5%増で、2年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は1兆517億円（対前年度増加率2.2%増）、財産所得985億円（同7.3%増）、企業所得は5,106億円（同48.8%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬63.3%、財産所得5.9%、企業所得30.7%となっている。

② 別府市

令和5年度市民所得総額は2,803億円、対前年度増加率4.8%増で、3年連続のプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は2,022億円（対前年度増加率0.9%増）、財産所得174億円（同0.7%増）、企業所得は606億円（同22.5%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬72.1%、財産所得6.2%、企業所得21.6%となっている。

③ 中津市

令和5年度市民所得総額は2,639億円、対前年度増加率13.0%増で、3年連続のプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は1,705億円（対前年度増加率1.3%増）、財産所得148億円（同6.9%増）、企業所得は786億円（同53.2%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬64.6%、財産所得5.6%、企業所得29.8%となっている。

④ 日田市

令和5年度市民所得総額は1,715億円、対前年度増加率6.0%増で、2年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は1,053億円（対前年度増加率1.0%増）、財産所得102億円（同1.7%増）、企業所得は561億円（同17.8%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬61.4%、財産所得5.9%、企業所得32.7%となっている。

⑤ 佐伯市

令和 5 年度市民所得総額は 1,573 億円、対前年度増加率 2.4%増で、2 年連続のプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 1,138 億円（対前年度増加率 0.9%増）、財産所得 95 億円（同 0.2%減）、企業所得は 339 億円（同 8.6%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 72.4%、財産所得 6.1%、企業所得 21.5%となっている。

⑥ 臼杵市

令和 5 年度市民所得総額は 804 億円、対前年度増加率 6.7%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 590 億円（対前年度増加率 0.1%減）、財産所得 49 億円（同 3.2%増）、企業所得は 165 億円（同 42.7%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 73.4%、財産所得 6.1%、企業所得 20.5%となっている。

⑦ 津久見市

令和 5 年度市民所得総額は 520 億円、対前年度増加率 16.2%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 288 億円（対前年度増加率 1.3%増）、財産所得 28 億円（同 9.9%増）、企業所得は 204 億円（同 48.2%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 55.4%、財産所得 5.5%、企業所得 39.1%となっている。

⑧ 竹田市

令和 5 年度市民所得総額は 484 億円、対前年度増加率 2.8%増で、7 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 279 億円（対前年度増加率 0.2%増）、財産所得 28 億円（同 1.4%増）、企業所得は 177 億円（同 7.4%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 57.8%、財産所得 5.7%、企業所得 36.5%となっている。

⑨ 豊後高田市

令和 5 年度市民所得総額は 513 億円、対前年度増加率 0.6%増で、2 年連続のプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 362 億円（対前年度増加率 3.7%増）、財産所得 31 億円（同 1.0%増）、企業所得は 120 億円（同 7.9%減）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 70.6%、財産所得 6.0%、企業所得 23.4%となっている。

⑩ 杵築市

令和 5 年度市民所得総額は 607 億円、対前年度増加率 5.7%増で、6 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 432 億円（対前年度増加率 0.5%増）、財産所得 36 億円（同 2.4%増）、企業所得は 140 億円（同 27.5%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 71.1%、財産所得 5.9%、企業所得 23.0%となっている。

⑪ 宇佐市

令和 5 年度市民所得総額は 1,447 億円、対前年度増加率 4.6%増で、3 年連続のプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 895 億円（対前年度増加率 0.5%増）、財産所得 80 億円（同 1.9%増）、企業所得は 471 億円（同 13.9%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 61.9%、財産所得 5.6%、企業所得 32.6%となっている。

⑫ 豊後大野市

令和 5 年度市民所得総額は 708 億円、対前年度増加率 4.8%増で、6 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 554 億円（対前年度増加率 5.3%増）、財産所得 42 億円（同 2.2%増）、企業所得は 113 億円（同 3.1%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 78.2%、財産所得 5.9%、企業所得 15.9%となっている。

⑬ 由布市

令和 5 年度市民所得総額は 953 億円、対前年度増加率 8.7%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 586 億円（対前年度増加率 1.3%増）、財産所得 56 億円（同 3.3%増）、企業所得は 311 億円（同 27.6%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 61.4%、財産所得 5.9%、企業所得 32.7%となっている。

⑭ 国東市

令和 5 年度市民所得総額は 574 億円、対前年度増加率 4.2%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

市民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 453 億円（対前年度増加率 2.0%増）、財産所得 35 億円（同 1.7%増）、企業所得は 86 億円（同 18.8%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 78.9%、財産所得 6.2%、企業所得 15.0%となっている。

⑮ 姫島村

令和 5 年度村民所得総額は 34 億円、対前年度増加率 5.6%増で、2 年連続のプラスとなった。

村民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 23 億円（対前年度増加率 3.2%減）、財産所得 2 億円（同 1.7%増）、企業所得は 9 億円（同 38.9%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 67.2%、財産所得 6.6%、企業所得 26.3%となっている。

⑯ 日出町

令和 5 年度町民所得総額は 712 億円、対前年度増加率 7.8%増で、3 年連続のプラスとなった。

町民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 500 億円（対前年度増加率 0.9%増）、財産所得 41 億円（同 3.2%増）、企業所得は 170 億円（同 37.0%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 70.3%、財産所得 5.8%、企業所得 23.9%となっている。

⑰ 九重町

令和 5 年度町民所得総額は 239 億円、対前年度増加率 30.0%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

町民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 119 億円（対前年度増加率 0.6%増）、財産所得 13 億円（同 20.4%増）、企業所得は 107 億円（同 95.1%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 49.7%、財産所得 5.5%、企業所得 44.8%となっている。

⑱ 玖珠町

令和 5 年度町民所得総額は 414 億円、対前年度増加率 6.8%増で、2 年ぶりのプラスとなった。

町民所得総額を所得項目別にみると、雇用者報酬は 276 億円（対前年度増加率 2.7%増）、財産所得 23 億円（同 2.6%増）、企業所得は 115 億円（同 19.4%増）となった。

所得項目別の構成比は、雇用者報酬 66.6%、財産所得 5.6%、企業所得 27.8%となっている。

3-1-2 地域別の動向

令和5年度市町村民所得の総額を地域別にみると、前年度に比べ、中部（13.0％増）、北部（8.7％増）、西部（8.2％増）、東部（5.3％増）、豊肥（4.0％増）、南部（2.4％増）の6地域でプラスとなった。

地域別の動向を所得項目別にみると、雇用者報酬では、豊肥（3.6％増）、中部（2.0％増）、北部（1.3％増）、西部（1.3％増）、南部（0.9％増）、東部（0.9％増）の6地域でプラスとなった。

財産所得では、中部（7.0％増）、北部（4.6％増）、西部（3.4％増）、豊肥（1.9％増）、東部（1.4％増）の5地域でプラスとなったが、南部（0.2％減）の1地域でマイナスとなった。

企業所得では、中部（47.3％増）、北部（30.2％増）、東部（25.2％増）、西部（24.8％増）、南部（8.6％増）、豊肥（5.6％増）の6地域でプラスとなった。

表2 市町村民所得（地域別）

（単位：億円、％）

年 度	実 績			対前年度増減額		対前年度増加率		対県構成比	
	R03	R04	R05	R04	R05	R04	R05	R04	R05
県 計	30,776	30,308	33,348	-468	3,040	-1.5	10.0	100.0	100.0
東 部	4,481	4,492	4,731	10	239	0.2	5.3	14.8	14.2
中 部	17,094	16,716	18,886	-379	2,170	-2.2	13.0	55.2	56.6
南 部	1,519	1,535	1,573	17	37	1.1	2.4	5.1	4.7
豊 肥	1,196	1,146	1,192	-50	45	-4.2	4.0	3.8	3.6
西 部	2,340	2,190	2,369	-150	179	-6.4	8.2	7.2	7.1
北 部	4,146	4,229	4,599	83	370	2.0	8.7	14.0	13.8

表3 市町村民所得（所得項目別・地域別）

（単位：億円、％）

	雇用者報酬			財産所得			企業所得		
	実 額	対 前 年 度 増 減 額	対 前 年 度 増 加 率	実 額	対 前 年 度 増 減 率	対 前 年 度 増 加 率	実 額	対 前 年 度 増 減 額	対 前 年 度 増 加 率
県 計	21,793	367	1.7	1,969	94	5.0	9,586	2,580	36.8
東 部	3,430	32	0.9	289	4	1.4	1,011	203	25.2
中 部	11,981	239	2.0	1,119	73	7.0	5,786	1,858	47.3
南 部	1,138	11	0.9	95	0	-0.2	339	27	8.6
豊 肥	833	29	3.6	69	1	1.9	289	15	5.6
西 部	1,447	18	1.3	138	4	3.4	784	156	24.8
北 部	2,962	39	1.3	259	11	4.6	1,378	320	30.2

3－2 一人当たり市町村民所得

令和 5 年度一人当たり市町村民所得の県平均は 304 万 2 千円で、前年度に比べ 30 万 4 千円（11.1％）の増加で、2 年ぶりのプラスとなった。

市町村民所得の対前年度増加率を市町村別にみると、九重町（33.9％増）、津久見市（20.2％増）など 18 市町村でプラスとなった。

※一人当たり市町村民所得は、各市町村の市町村民所得の総額を当該市町村の総人口で除したものです。市町村民所得には財産所得や企業所得が含まれ、また、総人口には 15 歳未満人口等も含まれることから、給与の平均水準等を示す数値ではありません。

図 1 1 一人当たり市町村民所得

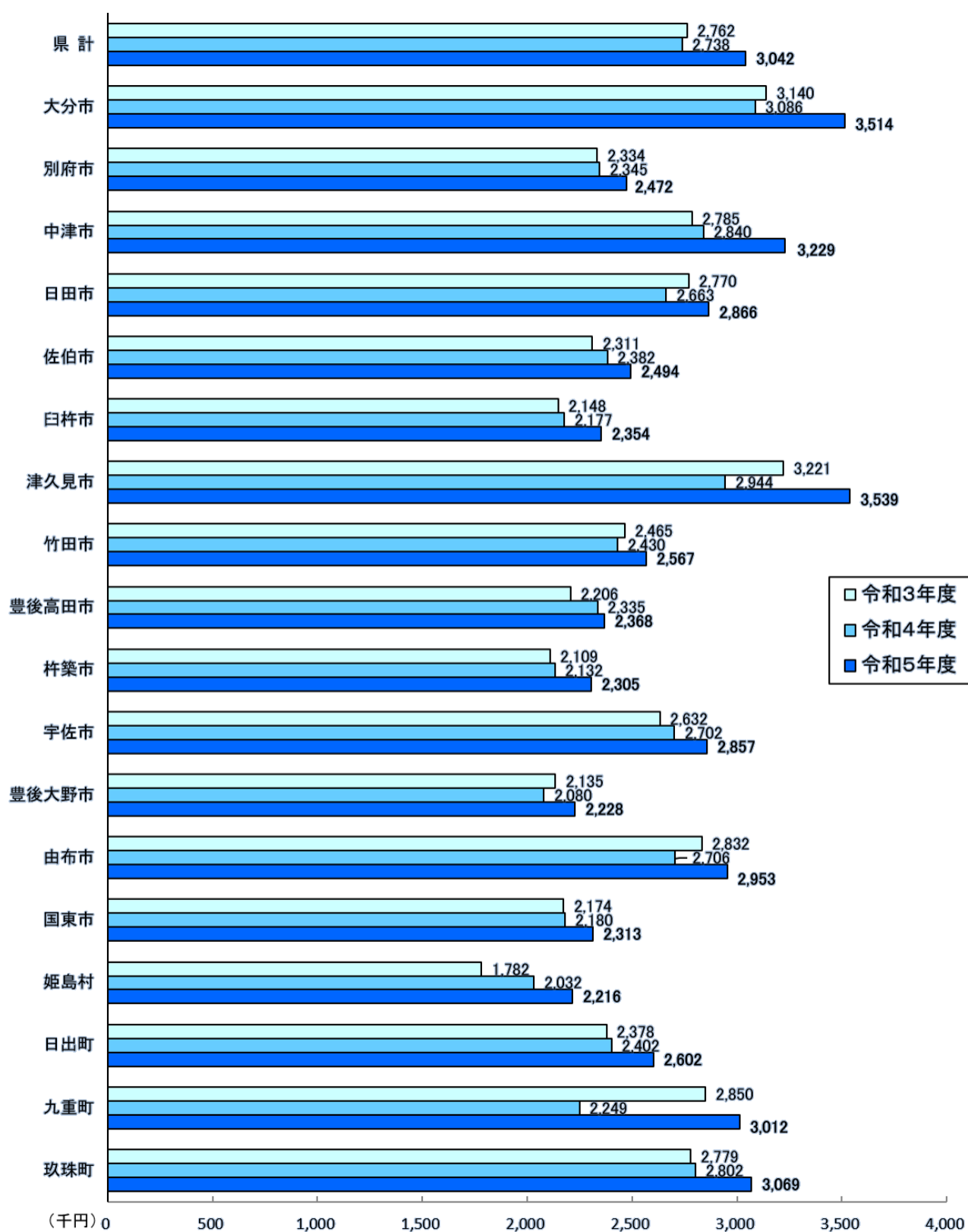
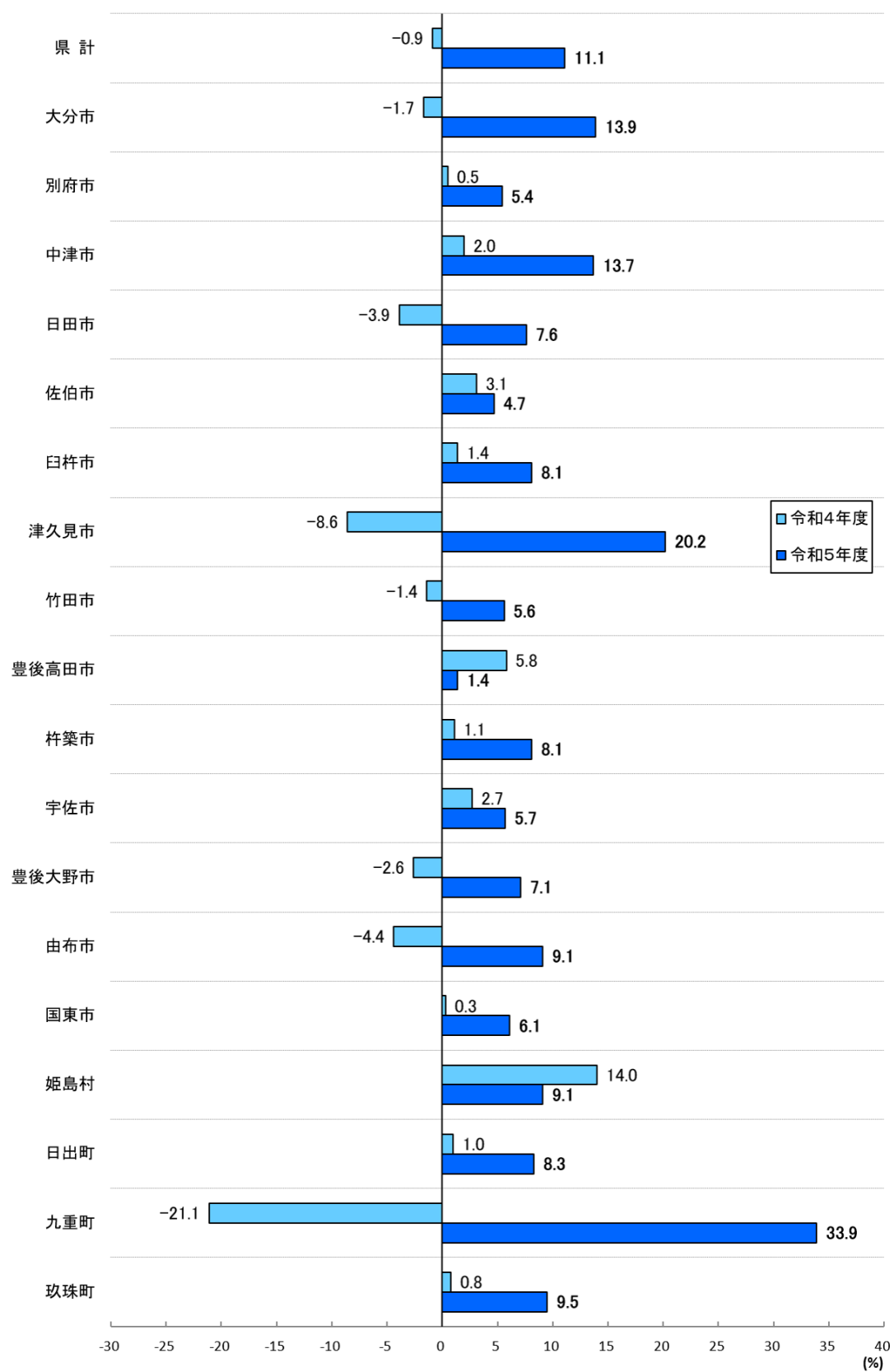


図 1 2 一人当たり市町村民所得対前年度増加率



3-2-1 市町村別の動向

① 大分市

令和5年度一人当たり市民所得は351万4千円、対前年度増加率13.9%増であった。また、大分県の一人当たり県民所得（以下、「県平均」という。）を100とした場合の所得水準は115.5となった。

② 別府市

令和5年度一人当たり市民所得は247万2千円、対前年度増加率5.4%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は81.3となった。

③ 中津市

令和5年度一人当たり市民所得は322万9千円、対前年度増加率13.7%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は106.1となった。

④ 日田市

令和5年度一人当たり市民所得は286万6千円、対前年度増加率7.6%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は94.2となった。

⑤ 佐伯市

令和5年度一人当たり市民所得は249万4千円、対前年度増加率4.7%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は82.0となった。

⑥ 臼杵市

令和5年度一人当たり市民所得は235万4千円、対前年度増加率8.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は77.4となった。

⑦ 津久見市

令和5年度一人当たり市民所得は353万9千円、対前年度増加率20.2%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は116.3となった。

⑧ 竹田市

令和5年度一人当たり市民所得は256万7千円、対前年度増加率5.6%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は84.4となった。

⑨ 豊後高田市

令和5年度一人当たり市民所得は236万8千円、対前年度増加率1.4%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は77.8となった。

⑩ 杵築市

令和5年度一人当たり市民所得は230万5千円、対前年度増加率8.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は75.8となった。

⑪ 宇佐市

令和5年度一人当たり市民所得は285万7千円、対前年度増加率5.7%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は93.9となった。

⑫ 豊後大野市

令和5年度一人当たり市民所得は222万8千円、対前年度増加率7.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は73.2となった。

⑬ 由布市

令和5年度一人当たり市民所得は295万3千円、対前年度増加率9.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は97.1となった。

⑭ 国東市

令和5年度一人当たり市民所得は231万3千円、対前年度増加率6.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は76.0となった。

⑮ 姫島村

令和5年度一人当たり村民所得は221万6千円、対前年度増加率9.1%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は72.8となった。

⑯ 日出町

令和5年度一人当たり町民所得は260万2千円、対前年度増加率8.3%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は85.5となった。

⑰ 九重町

令和5年度一人当たり町民所得は301万2千円、対前年度増加率33.9%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は99.0となった。

⑱ 玖珠町

令和5年度一人当たり町民所得は306万9千円、対前年度増加率9.5%増であった。また、県平均を100とした場合の所得水準は100.9となった。

3-2-2 地域別の動向

令和5年度一人当たり市町村民所得の動向を地域別でみると、前年度に比べ、中部（13.6%増）、西部（10.2%増）、北部（9.6%増）、豊肥（6.5%増）、東部（6.4%増）、南部（4.7%増）の6地域でプラスとなった。

表4 一人当たり市町村民所得（地域別）

（単位：千円、%）

年 度	実 績			対前年度増減額		対前年度増加率		対県格差	
	R03	R04	R05	R04	R05	R04	R05	R04	R05
県 計	2,762	2,738	3,042	-24	304	-0.9	11.1	100.0	100.0
東 部	2,283	2,299	2,445	16	146	0.7	6.4	84.0	80.4
中 部	3,062	3,003	3,410	-59	407	-1.9	13.6	109.7	112.1
南 部	2,311	2,382	2,494	71	112	3.1	4.7	87.0	82.0
豊 肥	2,258	2,211	2,354	-47	143	-2.1	6.5	80.8	77.4
西 部	2,780	2,645	2,914	-135	269	-4.9	10.2	96.6	95.8
北 部	2,653	2,723	2,985	70	262	2.6	9.6	99.5	98.1

図13 地域別一人当たり市町村民所得の推移

